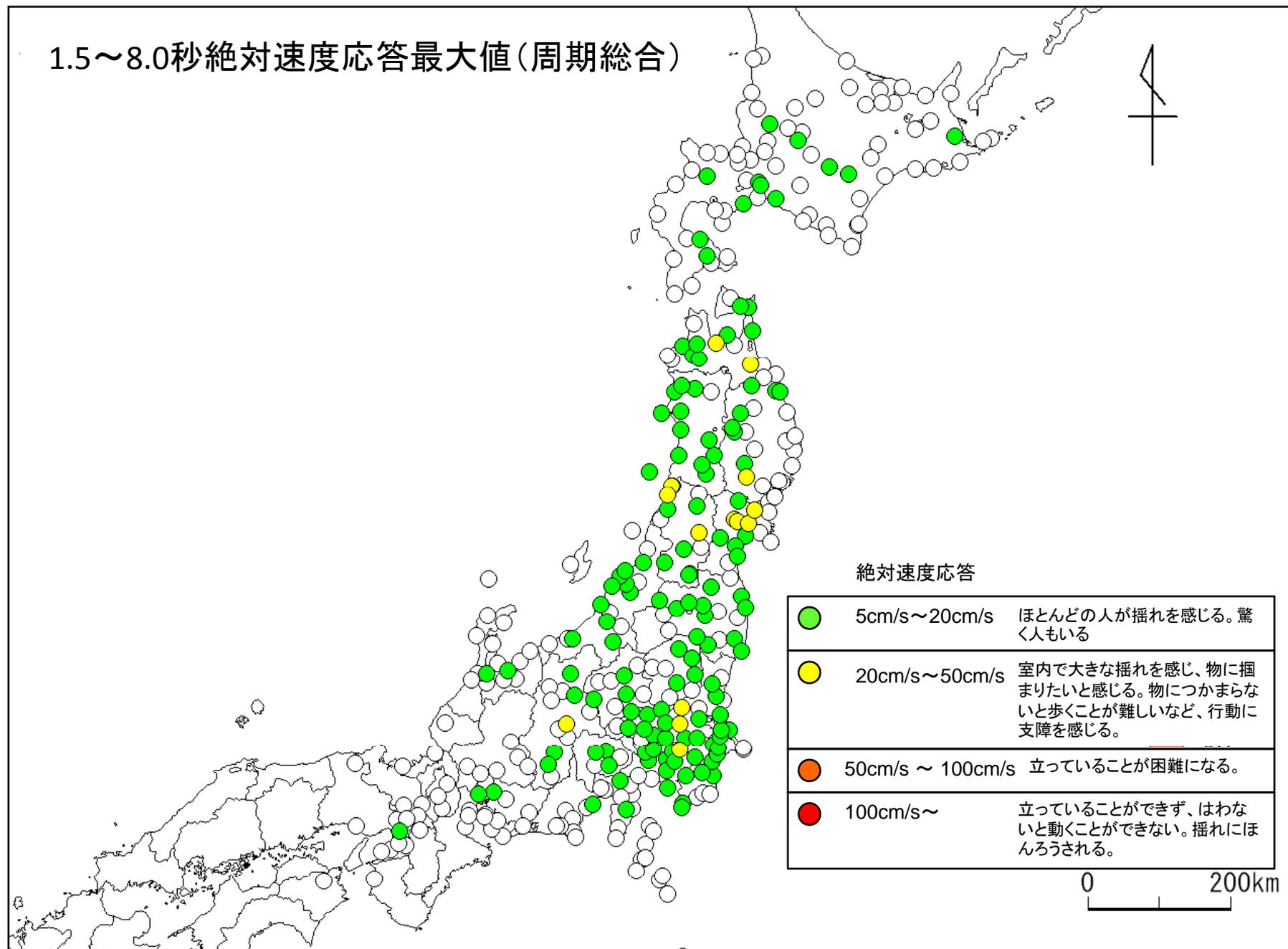


# 平成24年12月7日の 三陸沖の地震における 地震動の特徴と高層建物内証言

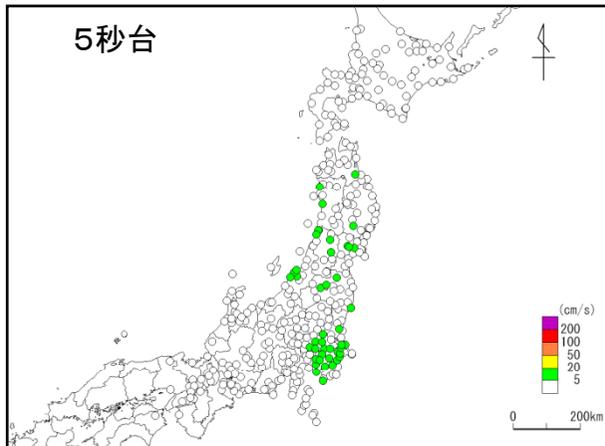
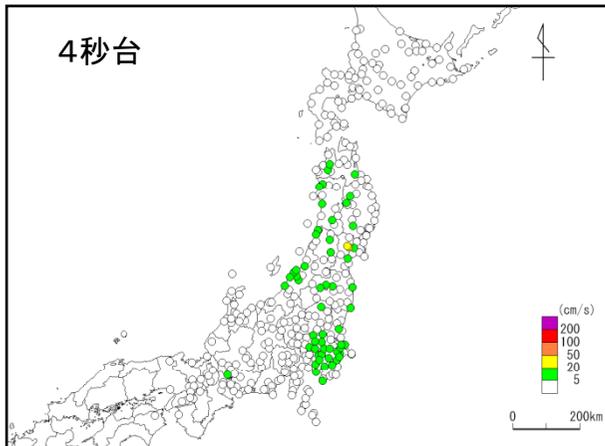
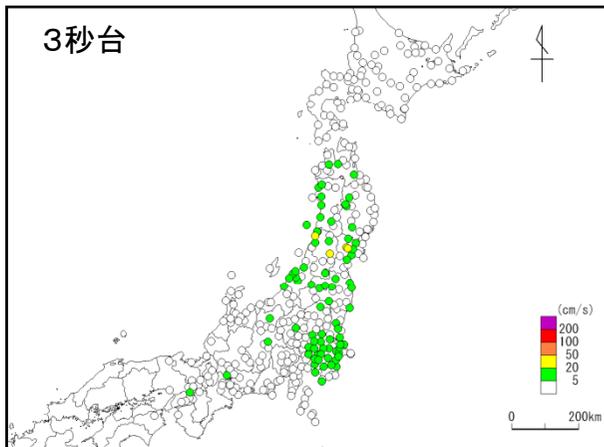
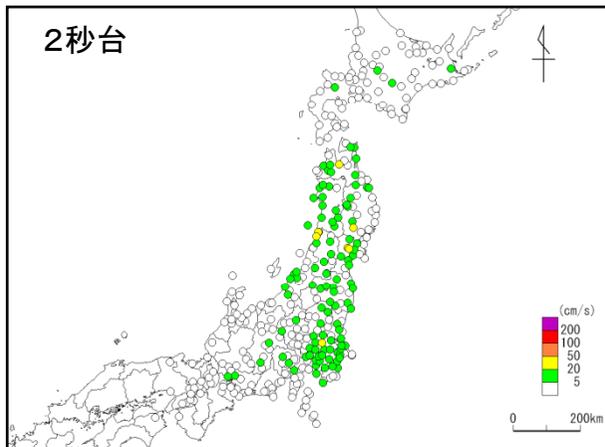
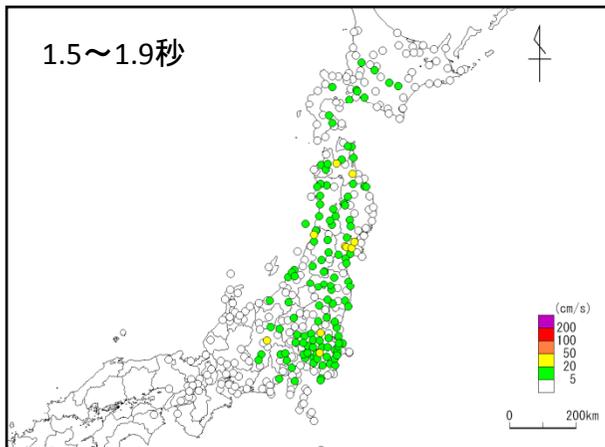
- ・聞き取り調査から、仙台、東京、大阪の高層ビルおよび免震構造物内で生じた揺れは、震度3～4相当と推定される。大阪湾岸エリアでエレベータ停止は1ビルのみで、他のビルではエレベータ停止は生じていない。
- ・絶対速度応答スペクトルを用いた揺れの評価では、仙台、東京、大阪では、「室内にいたほとんどの人が揺れを感じる。驚く人もいる(震度3～4相当)」と推定でき、聞き取り調査と概ね良い一致を示す。

データは気象庁震度観測点を使用した

# 1.5～8.0秒絶対速度応答最大値(周期総合)



# 周期別絶対速度応答最大値



## 絶対速度応答

	5cm/s～20cm/s	ほとんどの人が揺れを感じる。 驚く人もいる
	20cm/s～50cm/s	室内で大きな揺れを感じ、物に 掴まりたいと感じる。物につかま らないと歩くことが難しいなど、 行動に支障を感じる。
	50cm/s ～ 100cm/s	立っていることが困難になる。
	100cm/s～	立っていることができず、はわな いと動くことができない。揺れにほ んろうされる。